

らんざんボランティアセンター情報 No.5



©嵐山町2011

自分の心に生まれた「思いやり」の気持ちを行動に移してみませんか？
「ボランティア活動をはじめたい」「ボランティア活動ってどんな活動があるのか知りたい！」
と思ったら、お気軽にボランティアセンターにご相談ください。

○活動紹介

今回は、放課後子ども教室スイミーにおいて「オカリナ演奏」「クラフト教室」を行った2つの団体を紹介します。
『嵐山オカリナ』は、福祉施設や学校などで演奏活動をしています。『さいたま緑のトラスト協会嵐山支部』は、トラスト3号地（武蔵嵐山深谷周辺）の維持管理のため、保全作業と自然観察会をしています。

◇嵐山オカリナ◇

6月22日 オカリナやフルートの音色に合わせて、子どもたちも元気いっぱい歌いました。



◇さいたま緑のトラスト協会嵐山支部◇

7月17日 篠竹笛作り。
自分で竹を切って手作り笛を作りました。



～ボランティア活動をしたい人とボランティアを必要とする人をつなぎます～

○講演会のお知らせ【生きていてよかった 四季講座V】

“自分自身の生きがいを感じるボランティア活動”
「生涯学習とボランティア活動」～自分自身の豊かな成長を目指して～

講師	加藤 信幸 氏	場所	ふれあい交流センター
日時	10月18日(日) 14時～15時30分 (受付開始 13時30分～) (託児あり。要申込み)	申込み	嵐山町ボランティアセンター (定員50名・先着順) 10月15日(木)まで

問合せ 嵐山町ボランティアセンター ☎62-1221



平成27年度 少年少女消防体験入隊が開催されました

7月23日に管内の小学6年生を対象に、少年少女消防体験入隊が行われ、嵐山町からは12名の児童が参加をしました。
訓練では、放水・救助訓練・心肺蘇生法などの訓練を学びました。初めのうちは、慣れない訓練に緊張をしていた児童たちでしたが、時間が経過するうちに緊張も解け、積極的に訓練を学んでいました。



埼玉県硬筆中央展覧会でさいたま市長賞を受賞しました

平成27年度(第54回)埼玉県硬筆中央展覧会が開催されました。この展覧会では、埼玉県内の生徒による素晴らしい作品が展示され、嵐山町からは、玉ノ岡中学校の中島帆香さんがさいたま市長賞を受賞しました。おめでとうございます。



教育相談室

読書の秋

秋の夜長を活用して

残暑は残るものの、秋風が感じられる季節になりました。

耳を澄ますとあちこちから爽やかな虫の声が聞こえてきませんか。これから益々夜の時間が長くなり、それに伴って、お子さんが家庭内で過ごす時間も長くなるのではないのでしょうか。

この秋の夜長を上手に活用し、これまで以上に親子や家族のふれあいと静寂を、共有してみたいかがでしょうか。

そこで、是非お勧めしたいのが読書です。情操教育に欠かせない読書は「子どもの心を育てる」大切な役目があります。家族そろって行う読書なら、本を読むことが苦手なお子さんも、文字に触れるよい機会となることでしょう。

本を読み終わってから、お互いに感想を話したり聞いたりすることで、コミュニケーションを深め、お子さんの理解度をより深めていただけることも期待できます。

読書が苦手なお子さんの場合は、興味や関心のある内容のものや、短編のものから始めると、読書に親しみ易くなるようです。

例えば動植物や海の生物などの図鑑、自動車や怪獣等の図鑑、民話、インソップ等外国の物語、偉人伝、推理小説等、文字に触れやすいものの中から好きなものを選ぶことで、書物が身近になり読書に興味関心を寄せるきっかけになると思われまふ。

特に読書に対して苦手意識が高いお子さんには、広い分野に目を向けさせ、選択肢を広げてやるこ

とが大切です。また、読書に興味を持たせる手段の一つとして、効果が期待できるのは、「読み聞かせ」かも知れません。低学年位までなら、眠りにつく前の「読み聞かせ」もよろしいのではないのでしょうか。「続きは明日の晩ね。」と、1冊の本を何回かに分ければ無理をせず、親子で楽しみながら続けられるのではないのでしょうか。

それぞれの家庭のライフスタイルに合わせて工夫をし、家族で読書の時間を設けてみてください。

なお、なかなか読書の時間を取るのが難しいご家庭もあると思われまふ。そのような場合は、親子・家族のコミュニケーションを目的に、一人ひとり別々なテレビ番組を見るのではなく、同じ番組を一緒に視聴するのも良いことではないでしょうか。視聴後感想を交わすことで、これまで気づかなかった、お子さんの考えや思いに出会えて、新たな発見があるかも知れまふ。

そのような時、お子さんの話した内容に対して、興味や関心を示し、少々大袈裟になるくらいの褒め言葉を返してください。お子さんは、褒められることで自信がきます。すると、親に話すことが楽しくなるとともに、友達や先生に対して話をするが増え、やがて表現することが得意になることでしょう。読書で語彙を増やし、親子のコミュニケーションを

基にして表現力がついてくると、人前で話すことが楽しくなり、学校でも授業中の活躍が期待できまふです。

さて、町内の中学校では授業開始前、毎朝10分間の読書活動に取り組んでいます。この時間は教室の中で「静寂」に包まれ、落ち着いた一日の教育活動の始まりとなっております。

小学校におきましては教育活動の一環として、「読み聞かせ」や「読書」を実施しています。「知識の森」嵐山町立図書館から学校に貸し出していただいている本を活用することが多いようです。

各ご家庭におきましても、「知識の森」嵐山町立図書館に足を運び、秋の夜長をご家族おそろいで読書にいらしていただければ幸いです。

